

令和6年4月22日

交通事故概況

令和6年3月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(3月末計上数(確定数))

1 令和6年3月末の交通事故発生状況

区分\内容	3月中		3月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	765	-52	2,380	-11
死者数(人)	3	-1	12	-8
傷者数(人)	938	-34	2,893	44

[過去10年、3月中3月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
3月中死者数	11	10	8	13	6	10	9	8	2	4	8	7	3
3月末死者数	30	26	29	23	33	19	26	24	17	20	25	21	12
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別(3月中)

順位	1	3	4	5	19
都道府県名	愛知	東京	神奈川	埼玉	千葉
死者数	13	12	11	10	3

都道府県別(3月末)

順位	1	3	4	5	18
都道府県名	千葉	愛知	東京	兵庫	神奈川
死者数	35	34	30	25	12

2 交通死亡事故の発生状況(主なもの)

(1) 3月中の死亡事故(死者3人)

- 事故類型別：人対車両が2人(66.7%)、正面衝突が1人(33.3%)
- 道路別：道道が3人(100.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点が2人(66.7%)、非市街地直線が1人(33.3%)
- 発生時間別：0～2時、10～12時、20～22時が各々1人(33.3%)
- 第一当事者年齢別：25～29歳、50歳代、高齢運転者による死者が各々1人(33.3%)
- 第一当事者違反別：最高速度、前方不注意が各々1人(33.3%)
- 死者年齢別：高齢者が2人(66.7%)、50歳代が1人(33.3%)

(2) 3月末の死亡事故(死者12人)

- 事故類型別：
 - ・人対車両が5人41.7%(うち前方不注意が2人40.0%)
 - ・正面衝突が5人41.7%(うち過労運転によるもの、前方不注意が各々2人40.0%)
 - ・車両単独が2人16.7%(うち前方不注意が2人100.0%)
- 道路別：
 - ・道道が7人58.3%(うち正面衝突が4人57.1%、人対車両が3人42.9%)
 - ・国道が2人16.7%(うち車両単独が2人100.0%)
 - ・市町村道が2人16.7%(うち人対車両が2人100.0%)
- 地形・道路形状別：
 - ・非市街地直線が6人50.0%(うち正面衝突が4人66.7%)
 - ・市街地交差点が4人33.3%(うち人対車両が3人75.0%)
- 発生時間別：
 - ・10～12時が4人33.3%(うち正面衝突が3人75.0%)
 - ・4～6時が2人16.7%(うち人対車両、正面衝突が各々1人50.0%)
 - ・12～14時が2人16.7%(うち正面衝突、車両単独が各々1人50.0%)
- 第一当事者年齢別：
 - ・高齢運転者による死者が6人50.0%(うち正面衝突が3人50.0%、車両単独が2人33.3%)
- 第一当事者違反別：
 - ・前方不注意が6人50.0%(うち人対車両、正面衝突、車両単独が各々2人33.3%)
 - ・最高速度が2人16.7%(人対車両、正面衝突が各々1人50.0%)
 - ・過労運転によるものが2人16.7%(正面衝突が2人100.0%)
- 死者年齢別：
 - ・高齢者が8人66.7%(うち人対車両が4人50.0%、正面衝突、車両単独が各々2人25.0%)
- シートベルト非着用者：

自動車(二輪を除く)乗車中の死者7人中、シートベルト非着用者は3人(42.9%)であり、その全員がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

3月中の死者数は札幌方面が3人(100.0%)となっている。

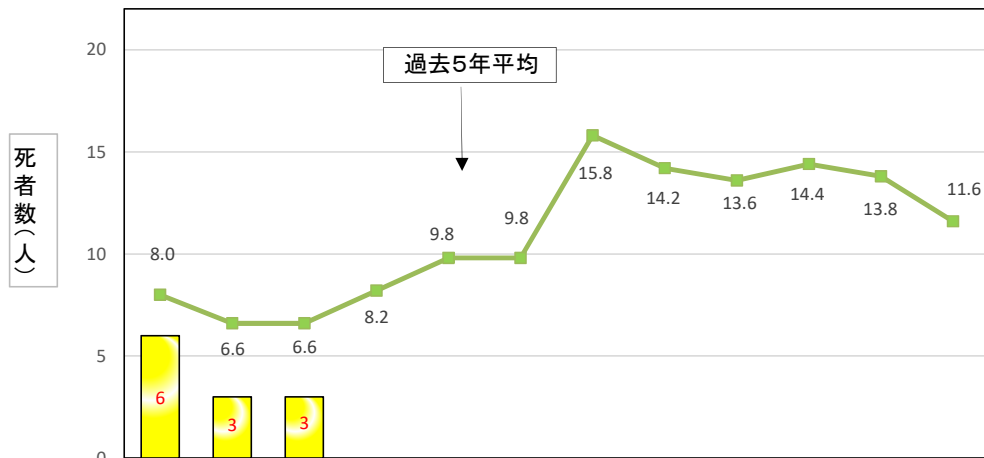
3月末の死者数は札幌方面が8人(66.7%)、旭川方面、北見方面が各々2人(16.7%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
3月中	全道	765	-52	3	-1	938	-34	3月末	全道	2,380	-11	12	-8	2,893	44
	札幌方面	579	-56	3	2	714	-30		札幌方面	1,812	11	8	-4	2,234	95
	函館方面	33				39	1		函館方面	116	-14			128	-28
	旭川方面	61	-15			80	-14		旭川方面	193	-13	2	-2	245	1
	釧路方面	71	14		-1	80	4		釧路方面	209	22		-2	231	12
	北見方面	21	5		-2	25	5		北見方面	50	-17	2		55	-36

(4) 月別発生状況の推移

3月中の死者数は3人で過去5年平均6.6人を下回っている。

3月末の死者数は12人で過去5年平均21.2人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3	3										
年間累計	6	9	12										12
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	132.4

(5) 都道府県別死者数

3月中は愛知県、東京都が各々13人で最も多く、次いで神奈川県が12人、埼玉県が11人北海道は3人で19位となっている。

3月末は千葉県、愛知県が各々35人で最も多く、次いで東京都が34人、兵庫県が30人、神奈川県、大阪府が各々25人で北海道は12人で18位となっている。

区分\都道府県	愛知	東京	神奈川	埼玉	千葉	茨城	兵庫	静岡	熊本	大阪	全国	北海道
3月中死者数	13	13	12	11	10	10	8	8	8	5	177	3
ワースト順位	1	1	3	4	5	5	7	7	7	10	-	19
前年比	-6	3	1	4	4	5	-1	1	2	-9	-49	-1
増減率(%)	-31.6	30.0	9.1	57.1	66.7	100.0	-11.1	14.3	33.3	-64.3	-21.7	-25.0

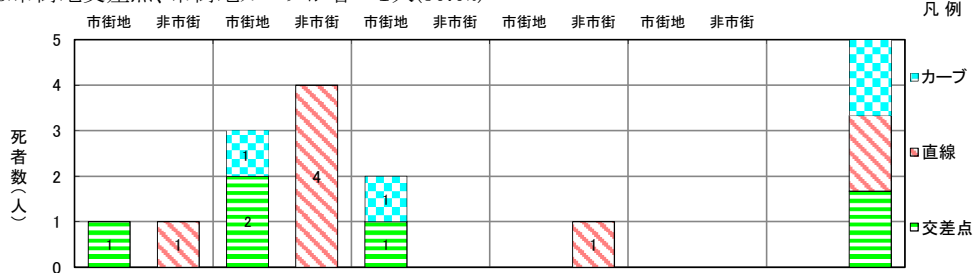
区分\都道府県	千葉	愛知	東京	兵庫	神奈川	大阪	福岡	茨城	広島	静岡	全国	北海道
3月末死者数	35	35	34	30	25	25	23	22	21	20	582	12
ワースト順位	1	1	3	4	5	5	7	8	9	10	-	18
前年比	5	0	8	6	-4	-15	-4	-2	2	8	-31	-8
増減率(%)	16.7	0.0	30.8	25.0	-13.8	-37.5	-14.8	-8.3	10.5	66.7	-5.1	-40.0

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が7人(58.3%)、次いで国道、市町村道が各々2人(16.7%)となっている。

- ・道道は非市街地直線が4人(57.1%)、市街地交差点が2人(28.6%)
- ・国道は市街地交差点、非市街地直線が各々1人(50.0%)
- ・市町村道は市街地交差点、市街地カーブが各々1人(50.0%)

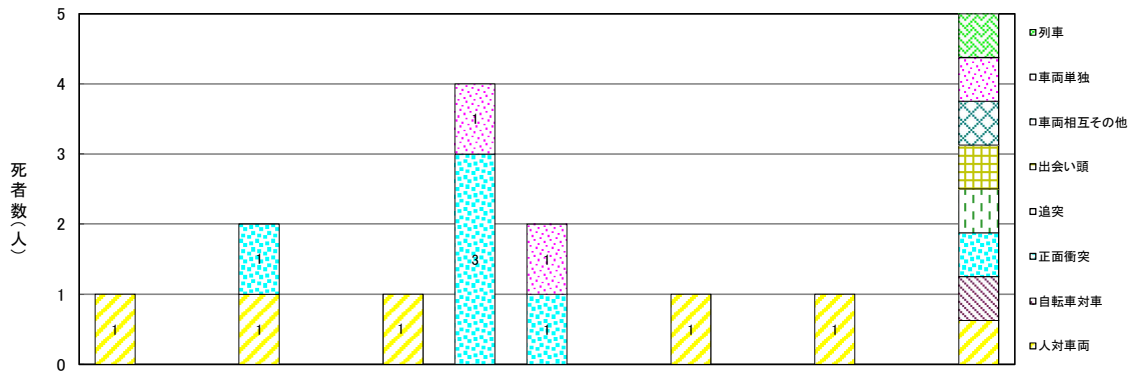


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	2	7	2	1		12
構成率(%)	16.7	58.3	16.7	8.3		100.0
過去5年構成率	40.4	28.3	23.2	3.0	5.1	100.0

(2) 時間別

10~12時が4人(33.3%)、4~6時、12~14時が各々2人(16.7%)となっている。

- ・10~12時は正面衝突が3人(75.0%)
- ・4~6時は人対車両、正面衝突が各々1人(50.0%)
- ・12~14時は正面衝突、車両単独が各々1人(50.0%)



区分\時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死者数	1		2		1	4	2		1		1		12
構成率(%)	8.3		16.7		8.3	33.3	16.7		8.3		8.3		100.0
過去5年構成率	3.0	2.0	4.0	7.1	8.1	16.2	17.2	14.1	9.1	10.1	5.1	4.0	100.0

(3) 事故類型別

人対車両、正面衝突が各々5人(41.7%)、車両単独が2人(16.7%)となっている。

- ・人対車両は、前方不注意が2人(40.0%)
- ・正面衝突は、過労運転(その他に含まれる)、前方不注意が各々2人(40.0%)
- ・車両単独は、前方不注意が2人(100.0%)



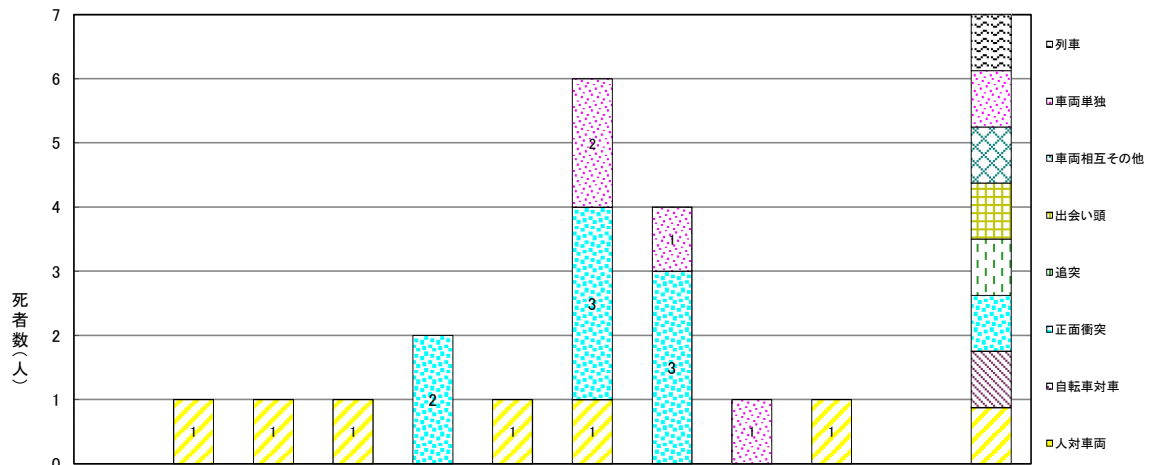
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	5		5			2		12	
構成率(%)	41.7		41.7			16.7		100.0	
過去5年構成率	30.3	2.0	28.3	1.0	15.2	3.0	19.2	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が6人(50.0%)、50歳代運転手が2人(16.7%)となっている。

- ・高齢運転者は、正面衝突が3人(50.0%)、車両単独が2人(33.3%)
- ・50歳代運転者は、正面衝突が2人(100.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数		1	1	1	2	1	6	4	1	1		12
構成率(%)		8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	50.0	33.3	8.3	8.3		100.0
過去5年構成率	3.0	3.0	11.1	24.2	12.1	9.1	36.4	12.1	7.1	17.2	1.0	100.0

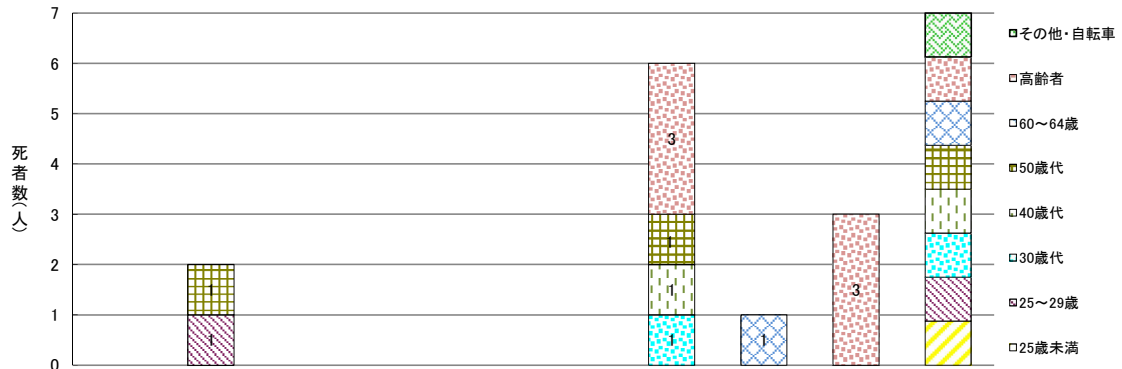
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが6人(50.0%)、次いで最高速度が2人(16.7%)となっている。

- ・前方不注意は、高齢運転者による死者が3人(50.0%)
- ・最高速度は、25歳~29歳、50歳代運転者による死者が各々1人(50.0%)
- ・その他の違反(過労運転を含む)は、高齢運転者による死者が3人(100.0%)

凡例



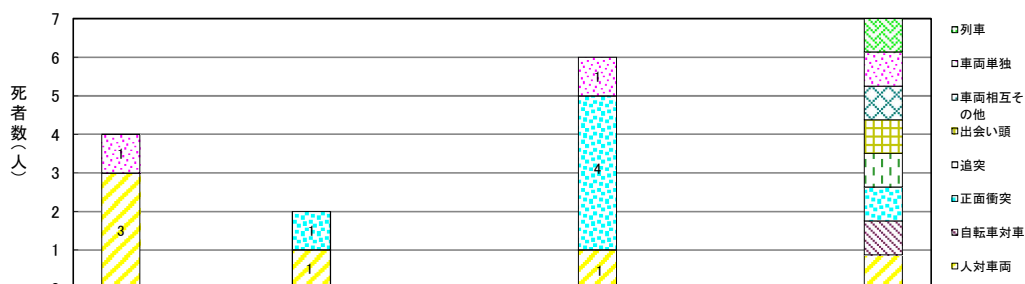
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数		2					6	1	3	12
構成率(%)		16.7					50.0	8.3	25.0	100.0
過去5年構成率			5.1	7.1	5.1	3.0	18.2	34.3	27.3	100.0

(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が6人(50.0%)、次いで市街地交差点が4人(33.3%)となっている。

- ・非市街地直線は、正面衝突が4人(66.7%)
- ・市街地交差点は、人対車両が3人(75.0%)

凡例



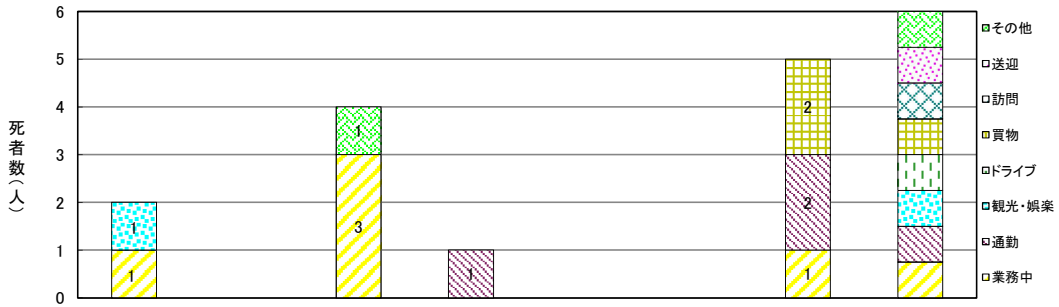
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	4		2	6		6		6	12
構成率(%)	33.3		16.7	50.0		50.0		50.0	100.0
過去5年構成率	29.3	13.1	5.1	47.5	10.1	32.3	10.1	52.5	100.0

(7) 曜日別

土曜日が5人(41.7%)、次いで火曜日が4人(33.3%)となっている。

- ・土曜日は、通勤、買物が各々2人(40.0%)
- ・火曜日は、業務中が3人(75.0%)

凡例



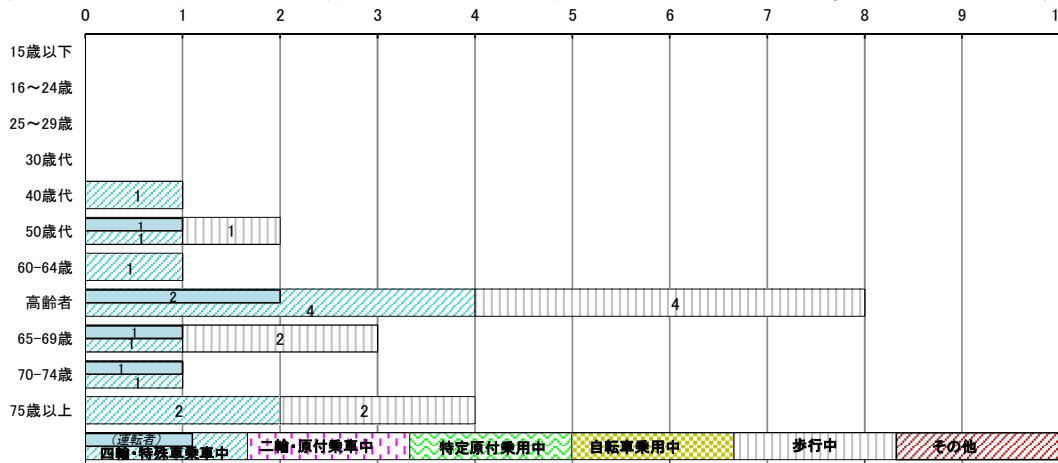
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	2	0	4	1	0	0	5	12
構成率(%)	16.7	0.0	33.3	8.3	0.0	0.0	41.7	100.0
過去5年構成率	13.1	10.1	16.2	12.1	16.2	14.1	18.2	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が8人(66.7%)、次いで50歳代が2人(16.7%)となっている。

四輪乗車中の死者数が7人(58.3%)、次いで歩行中の死者数が5人(41.7%)となっている。

死者数(人)



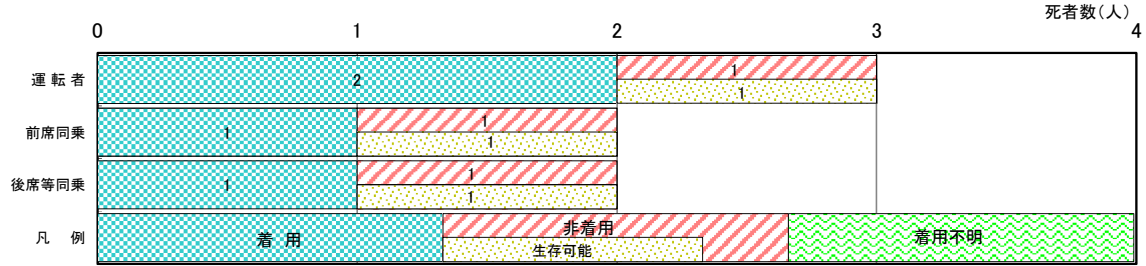
状態別 年齢層別\		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
16~24歳	死者数	0	0	0	0	0	0	0	1.0	
25~29歳	死者数	0	0	0	0	0	0	0	1.0	
30歳代	死者数	0	0	0	0	0	0	0	8.1	
40歳代	死者数	1	0	0	0	0	0	1	8.3	10.1
50歳代	死者数	1	0	0	0	1	0	2	16.7	11.1
60~64歳	死者数	1	0	0	0	0	0	1	8.3	10.1
高齢者	死者数	4	0	0	0	4	0	8	66.7	56.6
65~69歳	死者数	1	0	0	0	2	0	3	25.0	14.1
70~74歳	死者数	1	0	0	0	0	0	1	8.3	7.1
75歳以上	死者数	2	0	0	0	2	0	4	33.3	35.4
計	死者数	7	0	0	0	5	0	12	100.0	
	構成率	58.3	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	63.6	2.0	0.0	2.0	30.3	2.0	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者7人中、シートベルト非着用者は3人(42.9%)となっている。
非着用者の3人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明
		計	運転者	同乗者		計	運転者 (生存可)	同乗者 (助手席/後部席) (生存可)		
令和6年	7	4	2	1	1	3	1	1	1	1
構成率(%)	100.0	57.1	50.0	25.0	25.0	42.9	33.3	100.0	33.3	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、75歳以上が2人(66.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルメット着用				1	1	1	1		1			4
構成率(%)				25.0	25.0	25.0	25.0		25.0			100.0
ヘルメット非着用							3	1		2		3
構成率(%)							100.0	33.3		66.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者3人の損傷加害部位をみると座席が2人(66.7%)、天井が1人(33.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明
ヘルメット着用				1					1			2
構成率(%)				25.0					25.0			50.0
ヘルメット非着用								1	2			
構成率(%)								33.3	66.7			
運転者								1				
構成率(%)								33.3				
同乗者									2			
構成率(%)									66.7			

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和4年度及び5年度(ここでは令和4年11月～令和6年3月)の計上は次のとおり。

年度区分		死者数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和5年度	死亡事故	15	12	6	3	3	39
	冬型事故	3	1	2	1		7
	スリップ	3	1		1		5
	視界不良			2			2
	わだち						
令和4年度	死亡事故	13	6	13	3	4	39
	冬型事故		4	3	2		9
	スリップ		4	1	2		7
	視界不良			2			2
	わだち						